

KUBIC 受賞報告

第 17 期生 古橋 実咲

◆KUBIC とは...?

KUBIC とは、関西大学が主催する、「学生の力」をキャッチ・フレーズとした、若い力を発信するためのビジネスプラン・コンペティションです。この KUBIC には、企業から指定されたテーマに沿ったビジネスプランを応募する、企業テーマ部門



と、自由な発想で考えたビジネスプランを応募する、自由応募部門が設けられています。また、企業から指定されたテーマに沿ったビジネスプランであっても、予算計画書を作成すれば、そのプランを企業テーマ部門と自由応募部門の双方に応募することが可能です。

今年には 16 期生有志 1 チーム、17 期生有志 3 チームが参加し、企業テーマ部門に 5 案を応募しました。そして、16 期生有志チーム（岩間、土谷）が、多くのビジネスプラン案の中から厳正な審査を経て、優秀賞を受賞し、17 期生有志チームのうちの 1 チーム（古橋、森、江崎）が、企業賞を受賞いたしました。

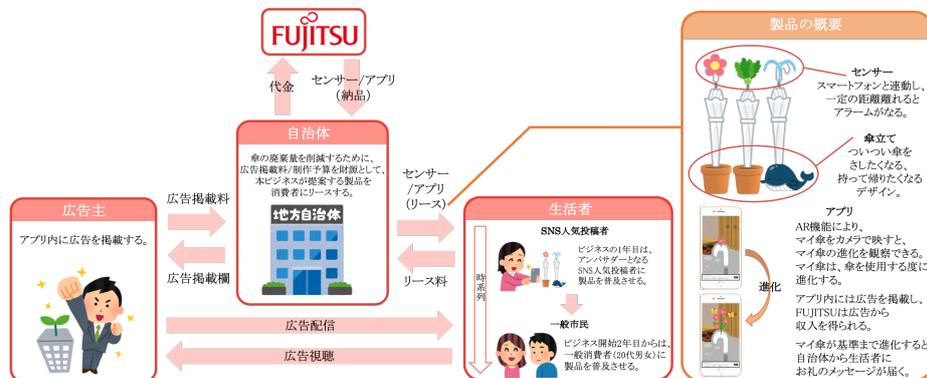
◆プランの概要

・出題企業：FUJITSU

出題テーマ：今、自治体は何をすべきか？ ～そこで富士通の ICT は何をする～

提案プラン：Happy Rainy Days！～傘の廃棄量を減らすプランの提案～

優秀賞を受賞した第 16 期生有志チームが提案したビジネスプランは、傘に取り付ける置き忘れ防止センサーと、傘立てをセットで自治体に販売し、自治体がセットを生活者に低料金でリースするというものです。本ビジネスの最終目的は、雨天時の憂鬱な外出を楽しみながら、ビニール傘の廃棄量の減少という社会的



提出用資料のビジネスモデル図

貢献を達成することです。置き忘れ防止センサーは、傘に取り付けると、スマートフォン内のアプリと連動し、傘から一定の距離が空くとアラームが作動する仕様になっています。また、傘立ては、傘を刺すことによって、植木の形や潮を吹いている鯨の形になるように設計されています。

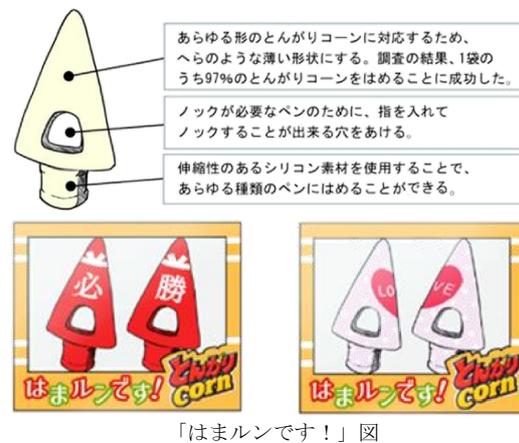
◆プランの概要

・出題企業：ハウス食品

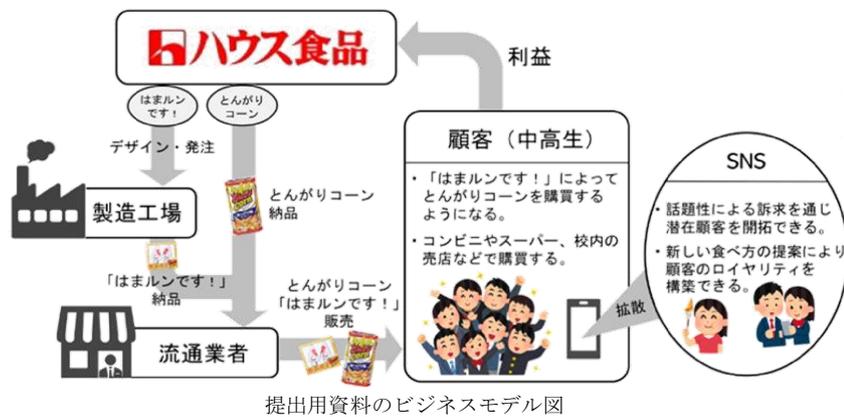
出題テーマ：ハウスとんがりコーンの新たな挑戦

提案プラン：はまルンです！とんがりコーン はめたらハマる!?!とんがりコーンの新しい食べ方の提案

企業賞を受賞した第17期生有志チームが提案したビジネスプランは、とんがりコーンを手をよこさずに食べられる「はまルンです！」というキャップを、とんがりコーンにおまけとしてつけるというものです。本ビジネスの最終目的は、とんがりコーンの売上を増加させることです。とんがりコーンは、売上が減少し続けているという問題を抱えており、特に「手が汚れてしまうから」という理由で若者のとんがりコーン消費量が減少し続けていました。そこで私たちは、若者にとんがりコーンを購入してもらうため、勉強中おなかが空いた時、持っているペンに装着することで手を汚さずにとんがりコーンを食べることが出来る「はまルンです！」というキャップを提案しました。



「はまルンです！」図



提出用資料のビジネスモデル図

◆受賞後記

この「はまルンです！」の案は、私一人の力では決して作り出すことのできなかつたものです。私は小野ゼミに入るまで、0から1を作り出すという経験をあまりしてきませんでした。そのため、いざ案を考えようとしてもなかなか良いものが思い浮かばず、「自分には向いていないのではないかと一度は出場を諦めることも考えました。しかし、「一緒に頑張ろう」と2人のゼミ生が声をかけてくれ、共に案を考えることになりました。完成まで様々な困難がありましたが、チームの皆はもちろんのこと、小野先生をはじめ

めとして、先輩方や同期から沢山のアドバイスをいただいた結果、企業賞を受賞するプランにまで成長させることができました。

表彰式当日は、お忙しい中、小野先生も会場に足を運んでくださりました。本プランを作成するにあたり、たくさんのご尽力をいただいた小野先生や先輩方、同期に対し、企業賞受賞という形で恩返しをすることが出来て本当に嬉しかったです。また、授賞式の後に開催された懇親会では、5月のインカレディベートでお会いした第5期OBの千葉先生に久々に再会することが出来ました。懇親会の後の打ち上げでは、ちょうど日本ラグビーの試合中継をしており、皆で大いに盛り上がり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、改めて、この案を作成するにあたってご尽力いただいた小野先生、大学院生の皆様、第16期生の先輩方、そして同期のみんな、本当にありがとうございました。



表彰式の様子(16期生有志チーム)



表彰式の様子(17期生有志チーム)